［狛江市］学校運営協議会：議事録

会議の名称	令和８年度第２回四中ゾーン学校運営協議会
開催日時	令和８年９月４日(金)　９時 30 分～11 時 30 分
開催場所	狛江市立狛江第五小学校　家庭科室
出席者氏名	千葉　桂樹　　石賀　健勝　　梅本ろり絵　　住友　和子 島津　倫子　　内海　貴美　　窪田　　暁　　三野　勝博 安井恵里子　　小宮山詠美　　山田　拓史　　工藤　　聡 上原　孝枝　　岩渕　美香
欠席者氏名	髙木　生一　　佐野　正作　　豊島　秀臣
傍聴者	０名
議題	１．「令和８年度業務量管理・健康確保措置の実施に関する基本方針」について ２．四中ゾーングラウンドデザイン改訂に向けて～五小児童・教職員アンケートから～ ３．「魅力ある学校づくり推進連絡協議会」報告
協議要旨	１．「令和８年度業務量管理・健康確保措置の実施に関する基本方針」について ・狛江市の基本方針の通りだと思う。 ・時間外在校等時間 45 時間以下を示しているが、45 時間以上の教員のケアが大切だと思う。 ・「時間だからできません」ではなく、子どもの話を聞くなど「やるべきことはやる」ということを前提として承認する。 ２　四中ゾーングラウンドデザイン改訂に向けて～五小児童・教職員アンケートから～ ・教員の望む魅力ある学校の姿は、昨年度、学運協でヒアリングして市にゾーンからの意見として出した内容とリンクしている。子どもたちは、自分たちが出した意見が認められること、実現できることを期待している。 ・子どもたちは学校で友達と思い出を作りたい、友達とつながるために学校に来たいと思っている。いろいろなことができる学校であるとよい。 ・この会議で出た課題はどう扱われるのか。「お金がない」というワードで実現不可能にするのは忍びない。 ・今は、各ゾーンで意識して取り上げていく場がある。直接、市教委へアピールする段階である。 ・日本は、公論化していくスタイルが弱い。公の機関等で取り上

	げてもらうなど、アピールしていくことも必要である。 ・教員が授業準備や授業実践に専念できるように、人的配置が整うとよい。 ・子どもたちはもっと学校で様々なことをやりたいと思っている、教員も子どもたちのためにもっと頑張りたいと思っている状況が浮かび上がったが、工夫次第で削減できるものがあるのであれば学校運営協議会として応援する。 3　「魅力ある学校づくり推進連絡協議会」報告 8月28日(金)に今年度2回目の「魅力ある学校づくりの推進連絡協議会」があり、その際の資料である教育政策監による市内の全小・中学校の児童・生徒へのヒアリング等のまとめを配布した。 内容をご覧いただき、学校運営協議会の皆様の意見も伺いたく、アンケートへの協力をお願いしたい。
次回の予定	令和8年11月17日(火)　於狛江四中